

# 信長の黒い城

## シナリオ 「墨俣一夜城」

琵琶法師の歌に曰く

美濃攻めに際して、足がかりを欲した信長は、国境の墨俣に出城を築こうと考えた。されど、墨俣は、ただの川の中洲に過ぎぬ。守りに適さぬ場所である。他の武将たちが尻込みするのを見た秀吉は、我こそはと手を上げる。秀吉はわずかる日で、ここに砦を築き、押し寄せる美濃勢を撃退、信長から報奨として、金銀を賜ったという。

これぞ、信長の天下布武の先触れ。

わずかる日で城が出来る訳がない。おおよそ、あの禿げネズミ（秀吉）とその同朋たる蜂須賀小六の詐術であろう。

墨俣城の秘密を暴き、かの城を落とせ！

夜明けとともに、北の門を開けば、美濃勢によって、城は落ちる。

## 信長の黒い城シナリオ 墨俣一夜城

### シナリオ概要

永禄4年、美濃攻めを進めていた信長の命令に従い、木下藤吉郎(後の羽柴秀吉)は尾張と美濃の国境である長良川の西岸にある墨俣(すのまた/洲股)に短時間で砦を築き、美濃勢を驚かせたとされる。いわゆる墨俣一夜城の伝説である。

このシナリオに登場する墨俣一夜城は、第六天魔王と化した信長の配下である、禿げネズミ武将の羽柴秀吉、その仲間である長良川の川者たちを支配する蜂須賀小六が築いた水辺の魔城である。

第六天魔王・信長の誕生を危惧する美濃の天才軍師、竹中半兵衛は、この魔城を攻略するため、「死せる復讐者」(PC)たちを送り込み、美濃側の門を開かせようとした。半兵衛は、この城に、第六天魔王と化した信長を殺す手がかりが隠されている、という情報をつかんでいたのである。

半兵衛の指示に従い、尾張の侍を装って、砦に入り込んだ一行は、墨俣一夜城の奥へと進んでいく。

そこには、卍を旗印とする蜂須賀小六がおり、秀吉から託された時の三面鏡を守っている。それは第六天魔王と化した信長が秀吉に与えたもので、墨俣の地脈を用いて、時を遡り、信長の宿敵3名(武田信玄、上杉謙信、今川義元)を殺すための儀式を行っているというものである。

この三面鏡を手に入れるためには、蜂須賀小六を倒さねばならないが、小六は、斎藤道三の蝮首に守られているので、蝮の首桶をなんとか横に退けなくてはならない。

まず、墨俣に入ったPCたちは、城内をうろついて、これらの情報を手に入れる必要がある。それには、以下の3つのイベントをこなさなくてはならない。

- ・ 河童との相撲勝負
- ・ 犬千代の笄斬り
- ・ 一色義龍軍との戦いで武勲を立てる

この3つをこなし、蝮の首桶を奪い取れば、小六を倒し、三面鏡を破壊して、信長の企てを打ち砕くことができる。

## 導入：道化芝居

---

### 【描写】

「これを持っていけば、清須勢に雇われた陣借りの侍として、墨俣に入れるはずだ。まずは、砦に入り込み、信長の噂を聞け。そして、夜明け前に、北の門を開き、美濃勢を招き入れよ」

美濃にその人ありと知られた若き軍師、竹中半兵衛は、こう言って書状を渡した。尾張清州城で織田信長の命により、村井貞勝が陣借りの侍に発行したという紹介状である。

これで蜂須賀小六をだまくらかせというのか？

「いやいや、中に入るだけだ。」

あの地で秀吉と小六が何を企んでいるか、探り出すのだ」

### 【解説】

シナリオは、墨俣一夜城の対岸にある尾張側の船着き場から始まる。長良川の西岸に建設された城は、美濃勢とにらみ合う最前線であり、尾張側からの人員補充は、長良川を渡る小舟、あるいは、蜂須賀衆と称する河童たちの手助けが必要である。

船着き場には、河童水軍4体がいて、渡し船を管理している。これは大型の筏で、馬も乗せることができる。半兵衛が用意した書状を見せれば、彼らは信用し、筏で墨俣一夜城まで渡してくれる。

## 一夜城の主

---

### 【描写】

墨俣一夜城は、超特急で、中洲に築いた城であるが、四方を柵に囲まれ、西側には、土盛り、掘割、柵を築いて美濃の攻め手を撃退できるようにになっている。墨俣の西側は、長良川の水を引き入れた堀が入り込み、そこには、卍の旗印をつけた蜂須賀小六配下の河童たちがいた。

柵の中央には、二階建ての砦が築かれている。

墨俣の船着き場で書状を見せると、その砦に案内される。そこには、ごつい髭面の武将と数名の武者たちがいる。まとった小袖には卍の文様。蜂須賀小六である。

その横には、漆塗りの首桶がある。二頭波（ふたがしらなみ）の文様は斎藤道三が用いたものだが、道三はすでに、息子義龍に討ち取られてこの世にはいない。義龍は、近年、一色左京大夫を名乗り、道三の家紋はおろか、斎藤家の家紋「なでしこ」も用いないはず。さて、誰の首やら。

小六の背後には、閉じた鏡台がある。三面の高価な代物で、織田の家紋、織田木瓜がついており、床の間に飾られている。

いやな予感がするが、それらの由来を問いかけることも出来ないまま、書状を差し出す。

「清須から送られてきたのか、ご苦労、ご苦労」

## 信長の黒い城シナリオ 墨俣一夜城

書状をちらりと見て、小六は歓迎の言葉を口にする。

「藤吉郎（秀吉）は、留守じゃ。

お前らは、犬千代の下につけ」

広間にいた数名の武将の内、槍を持った若武者が立ち上がる。

美少年、と言ってもよいだろう。どこか犬めいた顔つきだが、なんと言っても美しい。

「前田又左衛門尉利家である。いつまでも幼名で呼ぶな」

これが槍の又左か。「筭斬り（こうがいぎり）」の件は聞いている。

又左は、信長の小姓だったが、彼の義父の形見でもある筭を盗んだ同朋衆の茶坊主、拾阿弥を切り、浪人となった。桶狭間の戦いでも首級を上げたが、信長から許されず、美濃攻めで陣借りし、武勲をあげようとしているという。

「禿げネズミの部下になったつもりはない。

お互い陣借りの立場だ。よろしく頼む」

### 【解説】

ここは砦の主要人物の紹介である。

本来の城主である藤吉郎（秀吉のこと、この時点では木下藤吉郎である）は不在で、蜂須賀小六が城を率いている。彼は長良川の水運に携わる川者の親分で、このシナリオでは河童水軍の親玉となっている。

彼の傍らには、不気味な首桶があり、背後には閉じた三面鏡台がある。首桶には、義龍から奪った斎藤道三の生首が入っていて、掲げれば、蝮の毒をばらまく。怪物化した義龍を追い払う道具でもある。

下につくように言われた犬千代こと、又左は、後の前田利家だが、十大の彼は美少年の上、血気盛んな若武者で、短気である。この頃は、ライバルだった茶坊主の拾阿弥を斬り殺し、浪人となっていた。いわ

## 信長の黒い城シナリオ 墨俣一夜城

ゆる笄斬り（こうがいきり）事件である。史実の又左は、この後、美濃攻めで武勲を上げ、信長に帰参を許される。

浪人である又左犬千代は、陣借り仲間ということで、あれこれ説明してくれるが、織田家の譜代の出でもあり、浪人とあざけったりすると激怒して、切りかかってくる。

## 3つの試練

---

### 【描写】

墨俣一夜城は、形ばかりの砦であるが、長良川の河童たちに守られ、なかなか堅固に見える。

戦のない間、河童どもは、川の魚を取ったり、小六からもらった胡瓜をかじったり、相撲を取ったりしている。

「お主らも、一番、相撲を取らぬか？」

### 【解説】

犬千代と城内を散策すると3つのイベントが起きる。

### ・ 河童との相撲勝負

河童水軍1体と相撲を取る。河童と戦い、尻子玉を抜かれずに、攻撃を2度成功させれば、勝利となる（誉れ3点を得る）。尻子玉を抜かれたら、負けである。

勝ち負けに関わらず、相撲を取った仲間と河童は仲良くなり、小六の背後にあるのが、信長から秀吉が拝領した「時の三面鏡」であり、秀吉はそれを使って何かしているという話を聞かせてくれる。

## ・ 犬千代の筭斬り

犬千代と世間話をしながら、歩いていると、酒樽があり、飲み比べが始まる。体 DR12 を行い、失敗すると飲みつぶれてしまう (HP を 1 D4 回復する)。飲みつぶれなかったものがひとりでもいれば、犬千代は浪人となった経緯である「筭斬り (こうがいぎり)」の件を話してくれる。犬千代は 14 歳で信長の小姓になったが、同朋衆の茶坊主、拾阿弥が嫌なヤツで、彼を散々煽った末に、彼の義父の形見でもある筭 (佩刀に組み込んだ小さな刃物) を盗んだので、信長の面前でこれを斬り殺したのである。

そこまで話したところで、酔った犬千代は筭がないと言い出し、PC を同朋衆の茶坊主、拾阿弥と見誤って、剣を振るってくる。犬千代との戦闘が始まる。自分の手番で犬千代を説得する (心 DR16) か、犬千代を無力化させるしかない。犬千代は豺狼のごとき顔つきになり、自慢の大槍を振るう。この事件をやり過ごせれば、犬千代は、小六の持つ首桶には、斎藤道三の生首が入っており、小六を倒そうとすると、あれに呪われ、毒気に侵されると教えてくれる。これにより、犬千代を倒したのと同様の誉れを得る。

## ・ 一色義龍軍との戦いで武勲を立てる

上記のイベントが終わった後、休憩をした後 (成長を行ってもよい)、一色左京大夫義龍率いる美濃勢が攻め寄せてくる。その名前のごとく、火龍のごとき怪物と化した義龍は炎をまとって柵を打ち破り、突入してくる。

犬千代の指示で柵の防衛に向かった PC たちは、義龍と山犬雑兵 3 名とぶつかることになる。これらと 3 ターン戦い、生き残れば、岩に小六が現れ、虻の首桶を掲げる。

おぞましい毒気が義龍と雑兵を襲い、雑兵は壊滅し、義龍も血を吐きながら、撤退する。義龍は最後にPCたちを見て、こう言い捨てる。

「我が滅びようとも、信玄と謙信が信長めを討ち果たす」

「鏡台を割れ。さすれば、信長の野望は遠のく」

## 首桶を盗む

---

### 【描写】

「まったくもって、生首様々だな」

義龍の撤退後、合流した犬千代が血まみれの顔で笑った。

「さあ、小六殿に首を届けよう。

報奨を貰わんとな」

その手には、敵兵の首がぶら下がっていた。

### 【解説】

義龍との戦闘が終われば、犬千代に伴われて、小六との宴会に向かうことが出来る。これで得た武勲（誉れ）の量に従い、宴会の場で、小六から褒美をもらえるのである。

褒美は所持品表を振ることで与えられる。ここまですで得た誉れが1桁ならば、D8の表、10-15点ならD10の表、16点以上なら、D12の表か、武器表、あるいは、防具表で1回振れる。

小六は、宴会の間中、蝮の首桶を横においていて離さない。

PCは小六との飲み比べを行う。

繰り返し、耐久DR12を行う。



## 信長の黒い城シナリオ 墨俣一夜城

成功：小六の飲酒量がD3 ずつ増加し、15 に達するとふらついて、席を立つ。蝮の首桶を置いたまま、小用に行く。この間に、蝮の首桶を隠したり、三面鏡に近づいて、中をのぞいたりすることができる。この時、犬千代はすでに酔いつぶれている。

出目 20 の大成功なら、飲酒量は2倍。

失敗：HP に 1D4 ダメージ。0 以下になったら、酔いつぶれ、D4 ターン後に HP 1 D4 で復活する。

出目 1 の大失敗なら、即座に HP 0 となる。

### ・ 蝮の首桶

触れるならば、耐久 DR12 を行い、失敗したら、感染し、HP 1 D4 点を失う。触れたならば、斎藤道三の怨念が込められた品だと分かる。触れ続けるならば、10 ターンごとに同じ判定を行う。

これを持つ者の攻撃は毒を持つようになる。そのものの攻撃で1点でも HP が減ったら、即座に耐久 DR12 を行う。失敗したら、感染し、HP 1 D4 点を失う。また、そのものにダメージを与えるたびに、首桶の呪いで毒と化した返り血を浴びることになり、同様に耐久 DR12 を行い、失敗したら、感染し、HP 1 D4 点を失う。

### ・ 時の三面鏡

中をのぞいたら、そこには、禿げたネズミのような武将（藤吉郎）が、呪詛を行っている。彼の前には信長の宿敵3名（武田信玄、上杉謙信、今川義元）の位牌がある。鏡台を開いてしまうと、呪殺の儀式を中断しなくてはならないので、藤吉郎秀吉（禿げネズミ武将）が飛び出してきて、PC に襲いかかる。

## 信長の黒い城シナリオ 墨俣一夜城

中をのぞかずに、破壊しようとする場合、鏡台との戦闘になる。時の三面鏡はHP：20、士気：-、防具：硬い外見（-1D4 ダメージ）として扱う。3ターンで破壊できないと、藤吉郎秀吉（禿げネズミ武将）が飛び出してきて、PCに襲いかかる。

中をのぞかずに、墨俣から持ち去ろうとする場合、廊下に出たところで、蜂須賀小六が帰ってきて戦闘になる。小六を倒せば、脱出できる。

## 武将たちのデータ

---

### 【蜂須賀小六】

長良川の川者（河童水軍）を率いる野伏せの親玉で、秀吉の盟友として、墨俣一夜城を預かっている。

HP：20 士気：10 防具：河童の甲羅（-D6 ダメージ）

攻撃1：薙刀（D6 ダメージ）

攻撃2：爆裂弾（射撃攻撃として扱う）

攻撃3：河童水軍を1体召喚。

特殊：蝮の首桶：小六の攻撃で1点でもHPが減ったら、即座に耐久DR12を行う。失敗したら、感染し、HP 1 D4点を失う。また、小六にダメージを与えるたびに、首桶の呪いで毒と化した返り血を浴びることになり、同様に耐久DR12を行い、失敗したら、感染し、HP 1 D4点を失う。これを掲げると、斎藤義龍は軍を返す。

誉れ：12

## 信長の黒い城シナリオ 墨俣一夜城

### 【犬千代】

後の前田利家となる美形の若武者。幼名の犬千代、または、槍の又左と呼ばれる。血気に逸り、短気である。犬千代の名前の通り、どこか犬のような気配を持つ。

HP：16 士気：10 防具：武者鎧 (-D4 ダメージ)

攻撃：大槍 (D8) 槍の又左は槍の名手であり、これへの防御は技DR15となる。

特殊：犬千代は、鋭い嗅覚を持ち、匂いが強いものを感じ取る。

誉れ：8

### 【山犬雑兵】

頭部が山犬のような姿の農民兵。通常、3-4体で出現し、粗末な竹槍を振るって落ち武者を狩る。金目のものを持った者を優先的に攻撃する。

HP：4 士気：8 防具：お貸し具足 (-D3 ダメージ)

攻撃：竹槍 (D4) 竹槍への防御にファンブルした場合、傷口が汚れ、感染する。

誉れ：1

### 【一色左京大夫義龍】

## 信長の黒い城シナリオ 墨俣一夜城

斎藤道三の息子、斎藤義龍のことで、美濃の国主。父親道三を殺し、信長と敵対している。このシナリオでは、道三の呪いでその名にふさわしい龍騎士となり、炎に包まれて暴れまわるが、蝮の首桶に呪われ、病を受けては撤退する。

HP20 士気：10 防具：大鎧 (-D6 ダメージ)

攻撃：義龍火龍槍 (1D6) 全体攻撃

特殊：火龍の炎 (D3) 全体攻撃、自動命中

誉れ：10

信長の黒い城シナリオ 「墨俣一夜城」

著者：朱鷺田祐介

発行日：2022年5月28日